

## 昭和53年度秋季大会の告示

(東北地方調査研究会と合同)

1. 期 日 11月14日(月)～16日(水) 頁の講演予稿集原稿の書き方をご覧ください。
2. 会 場 宮城県民会館(仙台市国分町 3-3-7)
3. 研究発表
  - 1) 講演申込・予稿集原稿のメ切：8月31日(木) —必着—
  - 2) 申込先：東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁  
長期予報課内 講演企画委員会(〒100)
  - 3) 様式：本号挿入の申し込み用紙に記入，予稿集原稿を添えて申し込むこと。原稿用紙は本紙挿入のものを使用すること。詳細は本号54
  - 4) 講演時間：討論を含め15分以内—厳守—
4. シンポジウム  
「気候モデルとその問題点」  
話題提供
  1. 力学モデル 岸保勘三郎(東京大)
  2. 熱収支モデル 田中 正之(東北大)
  3. 水循環モデル 武田 喬男(名大水圏研)

### 気象研究ノート 第134号 発刊のお知らせ

気象研究ノート第134号「数値予報」が発刊されました。定期購読者以外で申し込まれる方は、4月号に綴り込みの申し込みハガキをご利用ください。424ページ、通常会員価格 4,000円で、内容は次のとおりです。

#### 第134号「数値予報」

1. 数値予報の歴史的展望(岸保勘三郎)
2. 基本方程式とエネルギー論(相原正彦)
3. 積雲対流のパラメタリゼーション(山岸米二郎)
4. 境界層の取り扱い(片山 昭)
5. 放射による加熱率の差分計算法とその北半球分布

- (久保田 効)
6. 客観解析法(清水喜允)
  7. 4次元同化作用とイニシャルゼーション(住 明正)
  8. 数値計算上の問題(木田秀次, 岡村 存, 近藤洋輝, 菊池幸雄)
  9. 数値予報プロダクトの利用(立平良三, 菊地正武)
  10. 予報可能性と延長予報(住 明正)
- 補遺 世界のオペレーショナル・モデルの現状  
(吉田泰治)

#### 正誤表 (下記の通り誤植がありましたのでお詫びして訂正させていただきます)

巻 号	ページ	行	誤	正
25. 5	表 紙	下 2	正誤表…………… 392	正誤表…………… 416
25. 5	409	左22	[東京地区](定数2名)	[東北地区](定数2名)
25. 5	会員名簿 27	右(会員 番号1176)	日高 孝治	日高 孝次